

安全データシート

作成日:2006年12月11日

-
1. 化学品
及び会社情報
- 製品名/化学品の名称 : パイオラン[®]クロス粘着テープ
発泡両面テープ HP-30-D
- 会社名 : ダイヤテックス株式会社
住 所 : 富山県黒部市沓掛2000番地
担当部門 : 品質保証グループ
電話番号 : 0765-52-1732
FAX 番号 : 0765-54-2768
緊急連絡先:同上
-
2. 危険・有害性の
要約
- 危険性:通常取り扱いでは、危険性はない。
有害性:高分子量化合物では生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。
環境影響:特段ないと思われる。
GHS分類:分類基準に該当しない。
-
3. 組成、成分
情報
- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- | | | |
|--------|-----------|----------------|
| 化学品名 | ①ポリエチレン樹脂 | ②アクリル酸エステル共重合体 |
| CAS.No | 9002-88-4 | 非開示 |
-
4. 応急措置
- 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗眼する。
取扱い中に粘着剤が
皮膚に付着した場合 : 水または石鹼水で充分洗浄する。もし、皮膚に炎症を生じたときは、医師の手当てを受ける。
吸入した場合 : 加熱溶融時(焼却時など)に発生する蒸気、ガスを大量に吸入した場合は、新鮮な空気の場合に移動し、異常が認められる場合は、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 大量に飲み込んだ場合は直ちに吐き出させ、異常が認められる場合は、医師の手当てを受ける。
-
5. 火災時の措置
- 消火方法:火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能であれば、速やかに安全な場所に移動させる。
周囲の設備等に散水して冷却する。
消火作業の際は、適切な保護具を着用する。
消 火 剤:噴霧水、粉末、炭酸ガス、アルコフォーム、乾燥砂
-
6. 漏出時の措置
- くずなどは容器に集め廃棄処分する。
-

7. 取扱い及び
保管上の注意
取扱い:人体、車のボディーなどには直接貼らないこと。
家具、壁、ガラスなどに貼る場合は、事前に充分試験をして貼ること。
電気絶縁用には使用しないこと。
貼る面のホコリ、油分、水分などをよく拭き取ってしっかり押さえ貼りつけること。
保管:直射日光を避け、涼しい所で保管する。
-
8. 暴露防止
及び措置
管理濃度:管理濃度は規定されていない。
許容濃度:日本産業衛生学会、ACGIH ではこの物質の許容濃度を設定していない。
設備対策:特になし。
保護具:必要に応じて着用する。
-
9. 物理／
化学的性質
外 観 等:粘着テープ
- | 化学品名 | ①ポリエチレン樹脂 | ②アクリル酸エステル共重合体 |
|-------|-----------|----------------|
| 融 点 | 100～145℃ | 知見なし |
| 比 重 | 0.92～0.96 | 知見なし |
| 溶 融 度 | 水に不溶 | 水に不溶 |
| 引 火 点 | 300℃以上 | — |
-
10. 安定性、反応性
安定性:通常取り扱い状態において安定
-
11. 有害性情報
刺 激 性:皮膚刺激性 物理的な刺激
眼刺激性 物理的な刺激
急性毒性:生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。
-
12. 環境影響情報
分解性、蓄積性:知見なし
-
13. 廃棄上の注意
焼却炉で焼却する。または、産業廃棄物処理場に埋め立てる。
-
14. 輸送上の注意
容器・包装は破損のないことを確かめ、落下、損傷のないよう積込み、荷崩れ防止を確実に行う。
-
15. 適用法令
消 防 法:指定可燃物 合成樹脂類
-
16. その他情報
本データシートは、弊社の持つ知見をもとに充分注意を払って作成しております。しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性、引用文献の内容・全ての生体影響の網羅を保証するものではありません。

使用におかれましては、適用法令に従うとともにこの安全データシートを参考に、使用に即した取扱い上の注意を検討確立して下さい。